

# 『音漢清文鑑』(卷2) 満洲語索引

——君類・擢用類・考選類・詞訟類——

石 橋 崇 雄

## はじめに

清朝では、漢文と満文との対訳表記に関して、乾隆年間に満洲語による訳語全般を新たに定め、漢字による満洲音の書写法を画一化したりした結果、乾隆年以降における清朝の制度史をめぐる用語には大きな変化が見られなくなる。そのため、例えば同時期以降の清朝における官庁の慣用語については、これらの慣用語を六部(吏・戸・礼・兵・刑・工)の各部ごとに分類・収録した『六部成語』(乾隆7〈1742〉年重鐫)や、「摺奏成語」・「公文成語」・「衙署名目」・「官銜名目」の各項目ごとに分類・収録した『清語摘鈔』(光緒15〈1889〉年新鐫)といった満・漢文の対訳辞書を参照することで、ほぼその全容を把握することができる。問題となるのは、乾隆7年以前の場合である。各時代で漢文と満文との対訳表記が大きく相違するほか、同時代の辞書相互においてさえ、対訳表記の内容が必ずしも一致していないからである。このことは、現在利用が可能となった清初期の各種満文檔案史料を解読する際の大きな障害となっている。このため、乾隆7年以前における慣用語を収録した辞書類の整理が急務となる。

乾隆7年以前における清代の辞書類には、『大清全書』(康熙22〈1683〉年序)、『満漢同文全書』(康熙29年新刊)、『同文彙集』(康熙32年小引)、『新刻清書全集』(康熙38年序)、『満漢類書』(康熙39年新刊)、『han i araha manju gisun i bul-eku bithe, 御製清文鑑』(康熙47年御製序)、『han i araha manju gisun i bul-eku bithe, 御製満洲蒙古合璧清文鑑』(康熙56年御製序)、『清文備考』(康熙61年自序)、『満漢同文類集(同文物名類集ともいう)』(康熙年間?), 『nikan her-gen i ubaliyambuha manju gisun i buleku bithe, 音漢清文鑑』(雍正13〈1735〉年序)、『清文典要』(乾隆3〈1738〉年新刻)などがあり、その個別索引、総合索引を作成して、総合的に整理・分析できれば、清初期の官庁における漢文慣用語に対する満文翻訳の変遷を解明する一助となり、清朝史研究に裨益するところは大きいであろう。

ところで、上に掲げた辞書類に雍正年間のものとして『音漢清文鑑』のみを示していることから窺えるように、乾隆7年以前の場合、康熙年間に作製された辞書類の数が多いのに対し、雍正年間作製の辞書類はごく限られたものしか刊行されていない。しかし管見の限り、現在に至るまで雍正年間作製の辞書類に関する整理・検討は殆ど行なわれていないようである。一般に清朝では、雍正帝の時

代になってさまざまな政治変革が施行され、中央集約的な皇帝権の確立をみたとされている。しかもその際、皇太子制に替わる皇帝位の継承法として儲位密建の法を採用したことや、八旗制の整備によるハン権の確立をはかっていることなど、雍正帝の支配権確立には単なる中国的皇帝制への移行ではないことを示している特徴があり、むしろ、中央集権制を整備する過程で、中国の官僚制機構と満洲族伝統の部族制的要素とを積極的に融合させていったと捉えるべき点も認められる。それだけに雍正年間作製の辞書類に関する整備・検討作業が、清朝史研究を進める上で不可欠となる。

清朝では、中国の国内平定を果たした康熙年間から最大支配領域を形成した乾隆年間にかけて、「清文鑑」の名を付した欽定の辞書類として、前掲の『御製清文鑑』（康熙47年序、20巻：36部 280類）、『御製満洲蒙古合璧清文鑑』（康熙56年序、20巻：36部 280類）のほか、『御製増訂清文鑑』（乾隆36〈1771〉年序、正編32巻：35部 292類、補編4巻：21類）、『御製満珠蒙古漢字三合切音清文鑑』（乾隆45年序、31巻：36部 285類）、『御製四体清文鑑』（乾隆年間、正編32巻：35部 292類、補編4巻：21類）、『御製五体清文鑑』（乾隆年間、正編32巻：35部 292類、補編4巻：21類）を編纂・刊行している。そしてこれから派生した辞書類として、『音漢清文鑑』（雍正13年序、20巻：280類）と『一学三貫清文鑑』（乾隆11年序、4巻：280類）がある。

このうちの『音漢清文鑑』は、『御製清文鑑』・『御製満洲蒙古合璧清文鑑』と『御製増訂清文鑑』との間に位置している。なお、『御製清文鑑』と『御製満洲蒙古合璧清文鑑』とでは内容が大きく相違する。前者が満洲語彙を満洲語で説明した満・満辞典で、経書などの出典と共に語彙の満文解釈のみを収録し、他の言語との対比は一切していないのに対し、後者は満洲語彙を蒙古語彙と対比した辞典で、語彙の満文解釈等は全て省かれている。ただ、この両者に共通しているのは、満洲語彙と漢語彙との対比をしていない点であり、この点に関しては後の『御製増訂清文鑑』まで待たなければならないことになる。したがって、雍正年間においては語彙解釈の豊富な『御製清文鑑』が甚だ画期的な辞書ではあったものの、満文の語彙を漢文に翻訳しようとすれば、逐一、漢文の経書や史書と対比しなければならないという不便さを持っていたことになる。これを補うべく、満洲語彙と漢語彙とを対比して作製されたのが、『音漢清文鑑』である。しかもそこには、後に作製された『御製増訂清文鑑』の場合と異なり、満洲語による訳語全般を新たに定め、漢字による満洲音の書写法を画一化した、乾隆年間以前における漢文と満文との対訳表記を整理・検討した結果が示されている。こうした点を考慮すると、清初期の官庁における漢文慣用語に対する満文翻訳の変遷を解明する上で、『音漢清文鑑』の史料的価値は甚だ大きいといえよう。敢て『音漢清文鑑』の満洲語索引を発表する次第である。

『音漢清文鑑』の構成（20巻：280類）は、基本的に『御製清文鑑』の場合（20巻：36部280類）と同一であり、巻1の天文類・時令類・地輿類から巻20の諸畜

類・牲畜孳生類・馬匹類・馬匹毛片類・馬匹肢体類・馬匹馳走類・馬匹動作類・套備馬匹類・騎馱類・牧養類・馬畜殘疾類・牛類・牲畜器用類・龍蛇類・河魚類・虫蟻類に至るまで、多種多様な類目から成る。そこで、清初期の官庁のうち、特に六部における漢文慣用語に対する満文翻訳の変遷を整理して『六部成語』総合索引作成の一助にするという当初の目的を考慮し、取り敢えず、君類・旨意類・旗分佐領類・臣宰類・擢用類・考選類・政事類・巡狩類・事務類・繁冗類・辦事類・官差類・輪班行走類・争鬭類・詞訟類・刑罰類・殴打類・寛免類・勸慰類を収録する巻2を取り上げ、機会あるごとに順次、その整理統合した満洲語索引を発表することとした。本稿は、既に発表した政事・巡狩・事務・繁冗・辦事・官差・輪班行走の各類に続く部分で、君・擢用・考選・詞訟の各類を収録している。なお、『同文彙集』、『清文備考』、『六部成語』と比較・検討した結果の詳細については改めて発表することにしたい。

(註) 『音漢清文鑑』(巻二) 満洲語索引——政事類・巡狩類・事務類・繁冗類・辦事類・官差類・輪班行走類——」(『国士舘大学文学部創設30周年記念論集』1996年11月)

『音鑑清文鑑』(巻2) 満洲語索引

凡例

- 一、『音漢清文鑑』に収録されている原文では、満文に漢文の対訳を付している。その満文を P. G. von Möllendorff, “A Manchu Grammar.” (上海, 1892年) の方式でローマ字転写し、これをアルファベット順に配列して、対訳の漢文を後に示した。
- 一、『音漢清文鑑』の原文には「幹末接尾辞」に関する付記のみえる場合がある。この場合には、ローマ字転写の後に 〈 〉 を付して併記した。
- 一、漢文の後に示した [ ] を付した部分は、原本における対訳漢文の後に付された割註であることを示す。なお割註内に満文成語とその対訳とが示されている場合には、利用の便を考慮し、\*を付して索引項目としても配列した。
- 一、漢文の後に示した ( ) 内の数字は、『音漢清文鑑』巻2の葉数であり、a は表、b は裏を示す。また葉数の後に、収録されている類別を示した。
- 一、明らかな誤字については訂正後の結果のみを示した。
- 一、本稿には、巻2のうち、君・擢用・考選・詞訟の各類を整理統合して収めた。その他の類については別稿を用意している。

(註) 「幹末接尾辞」の用語は、上原久著『満文満洲実録の研究』(不味堂書店, 1960年) 第8章「接辞論」の「幹末接尾辞」(460~75頁) に従った。

八二

A

abkai jui,	天子 (20a 君)
adabumbi,	擬倍 (28b 擢用)
age,	皇子・阿哥 (20a 君)

akdulambi,  
amcambi,

保舉 (28b 擢用)  
追問・趕供 (35a 詞訟)

## B

baitalabumbi,  
baitambi,  
bakcin,  
beidebumbi,  
beidembi,  
beile i sargan doroi fujin,\*  
beile i jui doroi gege,\*  
bukdambi,  
bungnambi,

爲所用・効用 (28b 擢用)  
用 (28b 擢用)  
對頭・敵手 (34b 詞訟)  
令審訊 (35b 詞訟)  
審訊 (35b 詞訟)  
貝勒妃多羅福金 (20b 君)  
貝勒之女多羅格乚 (20b 君)  
揆斷 (35a 詞訟)  
壓派以是爲非・屈斷 (35a 詞訟)

## C

cende,  
cendebumbi,  
cendembi,  
cendendumbi, 〈cende-numbi,〉  
cisulembi,  
cohombi,

詢試・他們・向伊等 (29a 考選)  
令試看 (29b 考選)  
試看之・詢之 (29a 考選)  
齊試看 (29b 考選)  
徇私 (35b 詞訟)  
擬正・首選 (28b 擢用)

## D

dabali,  
dahabumbi,  
dahalami,  
daiselabumbi,  
daiselambi,  
debkebumbi,  
debkembi,  
dekdebumbi,  
dele,  
derencumbi,  
dergi,  
doroi beile,  
doroi efu,  
doroi fujin,

超・優 (28b 擢用)  
薦舉・推・指缺荐人 (29a 擢用)  
隨告・訴狀 (35a 詞訟)  
令署任 (29a 擢用)  
署事・署任 (29a 擢用)  
令變更・使翻案 (35a 詞訟)  
變更・翻舊案 (35a 詞訟)  
事完復告・翻案 (35a 詞訟)  
皇上 (20a 君)  
徇情・看臉面 (35b 詞訟)  
上 (20a 君)  
多羅貝勒 [三等] (20a 君)  
郡王貝勒婿・多羅額駙 (20b 君)  
郡王妃・多羅福金 [beilei sargan doroi fujin, 貝勒妃多羅福金] (20b 君)

doroi gege,	郡君・郡王女・多羅格乚 [beile i jui doroi gege, 貝勒之女多羅格乚] (20b 君)
doroi giyūn wang,	多羅郡王 [二等] (20a 君)
duilebumbi,	令理訟・使審理 (35a 詞訟)
duilembi,	理訟・看得之看・審理 (35a 詞訟)
<b>E</b>	
ejen,	主君 (20a 君)
encehedembi,*	營求 (35b 詞訟)
encehešembi,	鑽幹・營求 [encehedembi,] (35 b 詞 訟)
enduringge ejen,	聖主・聖君 (20a 君)
<b>F</b>	
faidambi,	列名・排班 (28b 擢用)
fasilan,	事外生枝・杈枝 (35a 詞訟)
fei,	妃 (20b 君)
fimembi,	試優劣・繡衣邊 (29b 考選)
folgošombi,	調・遷轉 (29a 擢用)
folkolombi,	間隔着用 (29a 擢用)
fonjin,	問語 (35a 詞訟)
fudarambi,	官司翻了・翻招 (35a 詞訟)
fungnebumbi,	准封 (29a 擢用)
fungnembi,	封贈 (29a 擢用)
<b>G</b>	
genggiyen ejen,	明主・明君 (20a 君)
gerci,	出首者 (34b 詞訟)
gercilebumbi,	使首告 (34b 詞訟)
gercilembi,	首告 (34b 詞訟)
gioro,	覺羅・紅帶子 (20b 君)
gui fei,	貴妃 (20b 君)
gurun be dalire gung,	鎮國公 [五等] (20a 君)
gurun be dalire janggin,	護國將軍 [七等] (20a 君)
gurun be tuwakiyara janggin,	奉國將軍 [九等] (20b 君)
gurun de aisilara gung,	輔國公 [六等] (20a 君)
gurun de aisilara janggin,	輔國將軍 [八等] (20a 君)
gurun i efu,	駙馬・君之婿 (20b 君)

gurun i gungju,  
gūsai beise,  
gūsai efu,  
gūsai fujin,  
gūsai gege,

habšabuha niyalma,  
habšabumbi,  
habšaha niyalma,  
habšambi,  
habšan,  
habšanambi,  
habšandumbi,  
habšanjimbi,  
han,  
hiyahalabumbi,  
holbobumbi,  
hošoi cin wang,

hošoi efu,

hošoi fujin,  
hošoi gege,  
hošoi gege de holbohongge be inu  
hošoi efu,\*

hošoi gunju,  
hūwang gui fei,  
hūwang taidz,  
hūwang taidz i fei,  
hūwangdi,  
hūwangheo,

ilga,  
ilgabumbi,  
ilgabun,  
ilgacun,  
ilgambi,

古倫公主・君之女（20b 君）  
固山貝子〔四等〕（20a 君）  
貝子婿・古山額駙（20b 君）  
貝子妃・固山福金（20b 君）  
縣君・貝子女・固山格乚（20b 君）

## H

被告（34b 詞訟）  
使告（34b 詞訟）  
原告（34b 詞訟）  
告狀（34b 詞訟）  
訟（34b 詞訟）  
去告（34b 詞訟）  
齊告（34b 詞訟）  
來告（34b 詞訟）  
君（20a 君）  
被牽扯（35a 詞訟）  
干連関（35a 詞訟）  
和碩親王〔一等・宗室封號分十等〕（20a 君）  
和碩駙馬・郡馬・君養女之婿〔hošoi gege de holbohongge be inu hošoi efu, 和碩額駙〕（20b 君）  
親王妃・和碩福金（20b 君）  
郡主・和碩格乚・親王女（20b 君）  
和碩額駙（20b 君）

和碩公主・君之養女（20b 君）  
皇貴妃（20b 君）  
皇太子（20a 君）  
皇太子妃（20b 君）  
皇帝（20a 君）  
皇后（20b 君）

## I

分別・甄別之別・花（29b 考選）  
使分別之（29b 考選）  
有分別・考驗（29b 考選）  
有無分別之分別（29b 考選）  
分別之選・分辨（29b 考選）

ilgandumbi,  
ilhi anambi,

齊分別 (29b 考選)  
挨次 (29a 擢用)

## J

jabun,  
jangdz,  
jemden,

口供 (35a 詞訟)  
長子 [郡王・嫡子] (20a 君)  
弊 (35b 詞訟)

## K

kesi be tuwakiyara janggin,

奉恩將軍 [十等] (20b 君)

## L

laidabumbi,  
laidambi,  
lehembi,

令圖賴 (35a 詞訟)  
圖賴 (35a 詞訟)  
告而復告催狀 (35a 詞訟)

## M

mohobumbi,  
muribuhabi,  
murishūn,

窮詰 (35a 詞訟)  
被誣・冤枉了 (34b 詞訟)  
冤屈・枉 (34b 詞訟)

## O

orolombi,  
oron,

頂缺 (29a 擢用)  
缺 (28b 擢用)

## P

pin,

嬪 (20b 君)

## S

sibiya tatambi,  
sidehunjembi,  
siden,  
sihambi,  
simne,  
simnebumbi,  
simnembi,  
simnendumbi, 〈simne-numbi〉  
simnenembi,  
simnenjimbi,  
sindambi,

掣籤 (29a 擢用)  
公用・間配着用 (29a 擢用)  
干証・中人 (34b 詞訟)  
深究・逼 (35a 詞訟)  
考 (29a 考選)  
令考試 (29a 考選)  
孝之 (29a 考選)  
衆考 (29a 考選)  
去考 (29a 考選)  
來考 (29a 考選)  
建官之建・放・補授 (28b 擢用)



sirabumbi,  
sirambi,  
sirentumbi,  
siribumbi,  
sonjo,  
sonjobumbi,  
sonjombi,  
sonjondumbi, 〈sonjo-numbi〉  
sui mangga,

šaringgiyabumbi,  
šaringgiyambi,  
šidz,

tašan,  
temgetulebumbi,  
tetušembi,  
tuhebumbi,  
tukiyembi,  
tumen se,  
turgun,  
tuwabumbi,

uksun,  
ulintumbi,  
uru,  
urušembi,  
ušabumbi,  
ušabun,

waka,  
wakašambi,  
wesimbi,  
wesimbumbi,

准襲 (29b 擢用)  
襲職・接續 (29a 擢用)  
通關節・通線索・暗地交通 (35b 詞訟)  
究隱情・挾持陰事 (35a 詞訟)  
挑・選・簡・揀擇 (29b 考選)  
使簡之・令選之 (29b 考選)  
簡之・選拔之 (29b 考選)  
同簡之・公選 (29b 考選)  
冤枉 (34b 詞訟)

## Š

解其冤・雪其冤 (35b 詞訟)  
雪冤・洗冤 (35b 詞訟)  
親王・嫡子 (20a 君)

## T

偽・虛・假・謬・妄 (35a 詞訟)  
准旌表 (29a 擢用)  
器之量・才器使 (29a 擢用)  
坐罪・定擬 (35b 詞訟)  
舉・擢用 (29a 擢用)  
萬歲 (20a 君)  
情由・原故 (35b 詞訟)  
引見 (28b 擢用)

## U

宗室・族・黃帶子 (20b 君)  
用賄賂 (35b 詞訟)  
是・直 (35a 詞訟)  
是之・以爲・是・與・許可 (35a 詞訟)  
被連累・罣誤 (35a 詞訟)  
連累・拖累・願欲 (35a 詞訟)

## W

非・不是 (35a 詞訟)  
非之 (35a 詞訟)  
陞・上 (28b 擢用)  
令陞・題奏 (28b 擢用)



yargiyan,

Y

真切・寔・誠・確（35a 詞訟）

（本学教授・東洋史学）